

レチノール結合蛋白(RBP)		7466100		
RBP		担当部署 生化		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項	特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報	特記事項なし			
検査受付時間	8 : 15 ~ 16 : 00			
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項	特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8 mL
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
検体搬送条件	室温			
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告				

検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間	当日中～翌日				
生物学的基準範囲	男性 2.7～ 6.0 mg/dL 女性 1.9～4.6 mg/dL N-アッセイ LA RBP コット-ポ-添付文書				
臨床判断値	設定なし				
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	2.7	6	1.9	4.6
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因	特記事項なし				
臨床的意義	<p>蛋白栄養状態を評価(栄養アセスメント)する鋭敏なパラメータ(栄養パラメータ)として特に有用である。そのほか、肝機能(蛋白合成能)、ビタミン A 栄養状態の指標にもなる。</p> <p>日本臨床第 7 版 2 162,2009</p>				